

令和7年改訂

総合防災マップ

～大切な命を守るために～



■洪水ハザードマップ（総合防災マップ）等は市HPでも確認できます。

https://www.city.isesaki.lg.jp/bousai_info/hinanzo/map/18013.html



伊勢崎市

風水害

ハザードマップ

地震

雪害

災害への備え

総合防災マップについて

伊勢崎市では、河川の増水により堤防が決壊したときの浸水の範囲や深さ、避難所等の位置などを示した洪水ハザードマップと、地震や雪害対策などの情報を一つにまとめ「総合防災マップ」として作成し、平成29年度に初版を発行しました。

その初版の発行から5年が経過し、この間に災害対策基本法や水防法の改正などが行われました。災害対策基本法の改正では、1から5までの5段階の警戒レベルが導入されたことや避難勧告が廃止され避難指示に一本化されたこと、水防法の改正では、中小河川のうち、洪水予報河川及び水位周知河川の指定区間以外の浸水想定区域が追加指定されたことなどから、このたび「総合防災マップ」を改訂しました。

この「総合防災マップ」で自宅周辺の災害リスクや避難所等の位置、避難経路などを確認し、家族や地域の人たちとよく話し合っておきましょう。

また、災害時に備え、すぐに取り出せるようにして、必ず保管しておきましょう。

目次

総合防災マップについて／目次

風水害

避難情報と取るべき行動	P.1
避難行動の確認	P.2
避難情報の受け取り方	P.3
気象・防災情報	P.4～5
マイ・タイムラインを作ろう	P.6～7

ハザードマップ

洪水ハザードマップについて	P.8
指定緊急避難場所・指定一般避難所等一覧	P.9
河川別浸水想定区域図	P.10
全体索引図	P.11
洪水ハザードマップ①～⑪	P.12～33

地震

地震対策	P.34～35
震度分布図	P.36～37

雪害

雪害対策	P.38
------	------

災害への備え

非常時持ち出し品・備蓄品	P.39
要配慮者への支援	P.40
地域の防災対策	P.41

防災メモ

わが家の連絡先／防災関係機関／災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板	裏表紙
---------------------------------	-----

避難情報と取るべき行動

洪水避難行動判定フロー

※「洪水ハザードマップ」は、浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。

「洪水ハザードマップ(P.12～P.33)」で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけましょう。

自宅がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

- 災害の危険は低いので、在宅避難してください。
- 色が塗られていなくても、**周り比べて低い土地に住んでいる**場合は、市からの避難情報を参考に**必要に応じて避難**してください。

はい

原則、災害の危険があるので、**自宅でなく安全な場所へ立退き避難！**

例外

- 浸水する危険があっても
- ①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
 - ②浸水する深さよりも高いところにいる
 - ③浸水しても水が引くまで水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に残り安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住み、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、**親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

いいえ

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、**指定一般避難所等に避難**しましょう。

安全な場所に住み、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4 避難指示が出たら、**親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

いいえ

警戒レベル4 避難指示が出たら、**指定一般避難所等に避難**しましょう。

避難情報・防災気象情報(警戒レベル相当情報)

避難情報など(警戒レベル)				河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)		
警戒レベル	避難情報など	状況	市民がとるべき行動	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)	
5	緊急安全確保	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)
~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~						
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	大雨注意報 洪水注意報	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	2相当	氾濫注意情報	—
1	早期注意情報	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	1相当	—	—

※市などが出す警戒レベル(避難情報)と、気象庁などが出す警戒レベル相当の情報は、出されるタイミングや対象となる地域は必ずしも一致しません。

イラスト提供：内閣府

避難行動の確認

4つの避難行動

避難所等への立退き避難

- 普段から避難先や避難経路、洪水時に使用可能かどうか、などを確認しておきましょう。



安全な親戚・知人宅への立退き避難

- 普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
- ※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



安全なホテル・旅館への立退き避難

- 通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。
- ※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



屋内安全確保 (在宅避難・垂直避難)

- ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し、自宅にいても大丈夫かどうかを確認することが必要です。

2階なら安全！
今夜はみんな2階で寝よう！



イラスト提供：内閣府

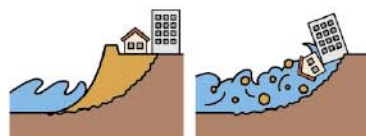
屋内安全確保の3つの条件

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないこと



氾濫流の場合

- 流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります。



河岸侵食の場合

- 地面が削られ、家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。

※家屋倒壊等氾濫想定区域に入っている場合は、早期の立退き避難が必要となります。

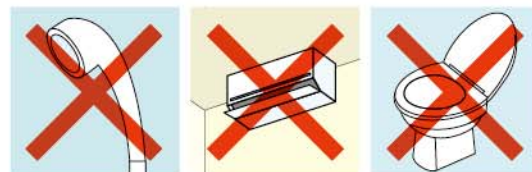
イラスト提供：内閣府

② 浸水深より居室が高い位置にあること

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分であること

- 水、食糧、薬などの確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレなどの使用ができなくなるおそれがあります。



豪雨時の屋外への移動は車も含め危険です。やむを得ず車中泊を行う場合は、浸水しないように周囲の状況などを十分に確認してください。

避難時の注意点

歩くのが難しい水の深さ

- 側溝やマンホールの位置などが分かりづらく、足を踏み外すおそれがあります。

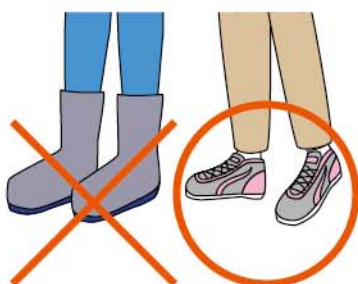
- 水の流が速い場合、転倒して流されるおそれがあります。

- 大人でも歩くことが難しく、危険な状態です。
- 子どもは転倒して流されるおそれがあります。



長靴は履かない

- 長靴は水が入ると動きづらいので、運動靴などを履きましょう。



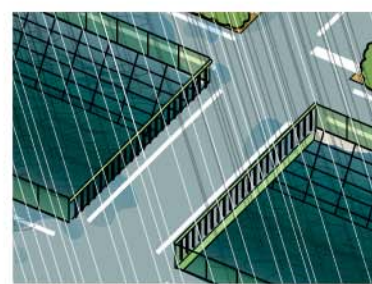
足元に注意する

- 足元は濁り水によって見えません。
- 歩く際は、傘や長い棒を杖代わりにして足元を確認しましょう。



河川などに近づかない

- 増水や氾濫のおそれがあり危険です。
- 河川や水路の様子を見に行ってもいけません。



避難情報の受け取り方

いせさき情報メール 登録制

- 災害・防災情報などをメールで配信するサービスです。

登録方法 携帯電話などから次のメールアドレスに空メールを送信して登録してください

宛先 t-isesaki@sg-p.jp

いせさき情報メール
はこちら



テレビのデータ放送

- テレビなどでも情報収集をすることができます。番組視聴中にリモコンのdボタンを押すと、最新の気象情報や河川の水位情報、避難情報などがテレビのデータ放送で確認できます。



ファクス配信サービス 登録制

- 避難に関する情報をファクスで配信するサービスです。

登録方法 申請書に必要事項を記入の上、直接または郵送・ファクスで安心安全課へ
※申請書は安心安全課にあります。市ホームページからダウンロードもできます

宛先 〒372-8501 (住所不要) 市役所安心安全課
FAX 26-6123

Yahoo! 防災速報アプリ

- Yahoo! 防災速報アプリを通じて、指定したエリアの利用者に避難情報などが配信されるサービスです。

Yahoo! 防災速報アプリ
はこちら



緊急速報メール(エリアメール)

- 国や市が配信する緊急情報を区域内の携帯電話・スマートフォンに配信するサービスです。緊急地震速報や気象に関する特別警報、避難情報などが、いせさき情報メールの登録の有無に関わらず配信されます。
※機種によっては設定が必要です。



SNS X・フェイスブック

- 市公式アカウントに災害情報や避難情報などを掲載します。

[アカウント]
@isesakicity_lg



▲市公式X
はこちら

[アカウント]
@isesakicity



▲市公式フェイス
ブックはこちら

市ホームページ

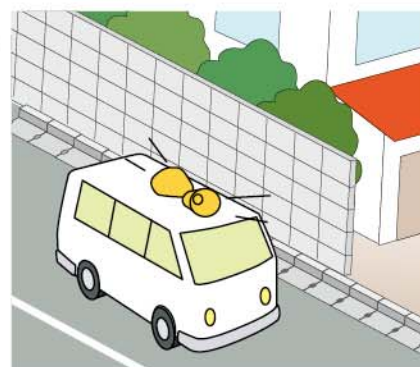
- 市が出す避難情報のほか、総合防災マップ、気象情報や河川の水位情報が確認できるリンクなど、避難の判断に役立つ情報を掲載しています。災害発生時には災害情報専用の緊急用ページで詳しい情報を提供します。

市ホームページ
はこちら



広報車

- 広報車で巡回しながら避難情報や避難所等の開設情報などを伝えます。



避難所等の開設・混雑情報 VACAN

- 「VACAN」は、リアルタイムで避難所等の開設状況や混雑状況などが確認できるサービスです。避難所等の混雑状況は、地図上に「空いています」「やや混雑」「混雑」「満」の4段階で表示されます。避難所等が開設されていない時は、Closed と表示されます。

確認はこちら



気象・防災情報

気象庁の情報

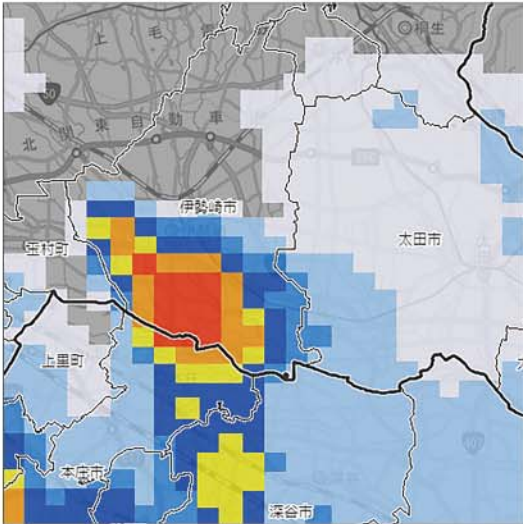
気象庁ホームページの防災情報コンテンツでは、以下の情報などが確認できます。

気象庁
のHPはこちら



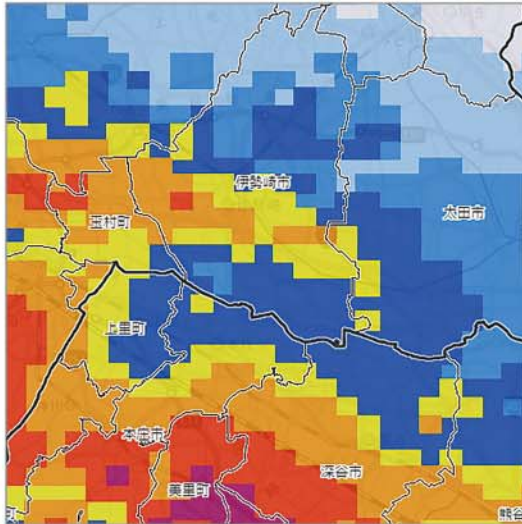
雨雲の動き(ナウキャスト)

- 5分ごとに1時間先までに予想される雨の降る場所や強さ表示します。



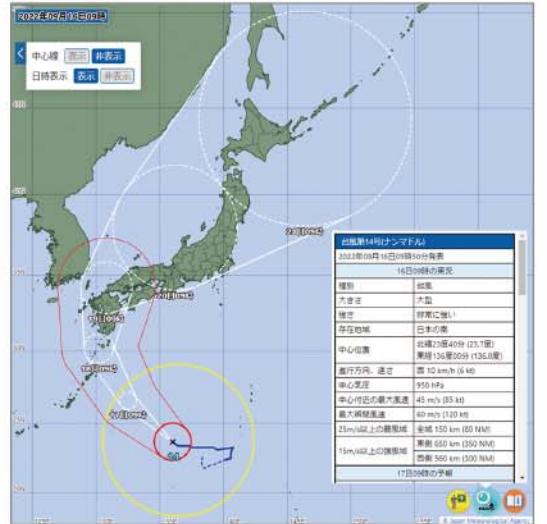
今後の雨(降水短時間予報)

- 1時間ごとに15時間先までに予想される降水量を表示します。



台風情報

- 現在の台風の状況や予想される進路や規模などを表示します。

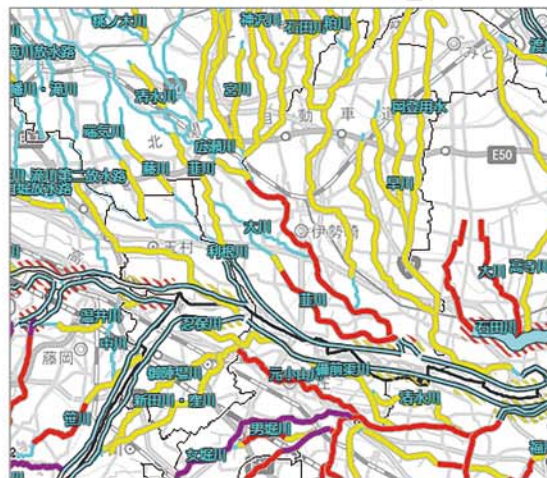


キキクル(危険度分布)

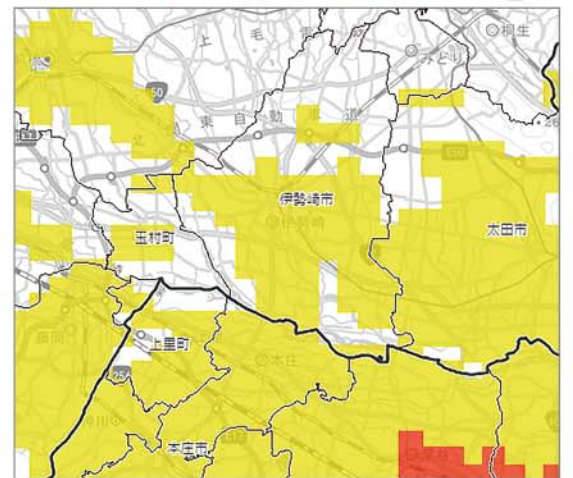
- 地図上に浸水や洪水などの危険度高まりを色分けして表示します。



洪水キキクル (洪水警報の危険度分布)



浸水キキクル (大雨警報(浸水害)の危険度分布)



画像提供：気象庁

河川の水位情報

国土交通省 川の防災情報

- 主要河川の水位や雨量などが確認できます。



川の防災情報
のHPはこちら



群馬県河川防災情報 かわみるぐんま

- 群馬県と国土交通省が設置した河川の水位情報やライブカメラ画像などが確認できます。



かわみるぐんま
のHPはこちら



大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風特別警報	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
大雨警報(浸水害)	表面雨量指数基準:21
洪水警報	気象庁ホームページを参照
暴風警報	平均風速 18m/s
暴風雪警報	平均風速 18m/s 雪を伴う
大雪警報	12時間降雪の深さ 10cm
大雨注意報	表面雨量指数基準:11 土壌雨量指数基準:100
洪水注意報	気象庁ホームページを参照
強風注意報	平均風速 13m/s
風雪注意報	平均風速 13m/s 雪を伴う
大雪注意報	12時間降雪の深さ 5cm
記録的短時間大雨情報	1時間雨量 100mm
顕著な大雨に関する気象情報	線状降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている場合

- 洪水警報・洪水注意報の発表基準などは、気象庁ホームページよりご確認ください。

気象庁「警報・注意報発表基準一覧表(群馬県)」のHPはこちら



雨の強さ

雨の強さ	1時間雨量	状況
やや強い雨	10mm~20mm	ザーザーと降る。
強い雨	20mm~30mm	傘をさしていてもぬれる。
激しい雨	30mm~50mm	道路が川のようになる。
非常に激しい雨	50mm~80mm	傘は全く役に立たなくなる。
猛烈な雨	80mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある。

風の強さ

風の強さ	平均風速(秒速)	状況
やや強い風	10m~15m	風に向かって歩きにくくなる。樹木全体と電線が揺れ始める。
強い風	15m~20m	風に向かって歩けなくなる。看板やタン板が外れ始める。
非常に強い風	20m~30m	何かにつかまらないうと立ってられない。屋根瓦が飛ぶこともある。
猛烈な風	30m以上	多くの樹木が倒れる。走行中のトラックが横転する。

台風の大きさ

台風の大きさ(階級)	風速(秒速) 15m 以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

台風の強さ

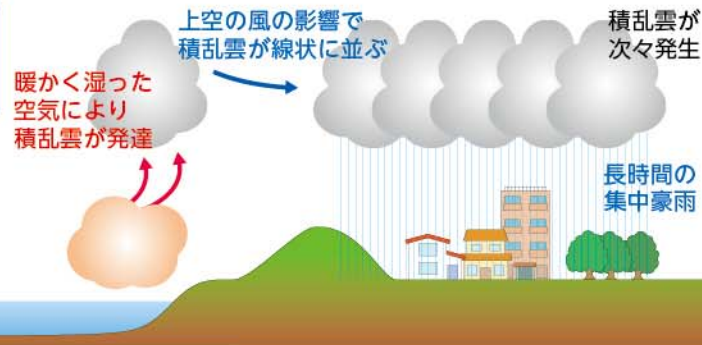
台風の強さ(階級)	最大風速(秒速)
強い	33m 以上 44m 未満
非常に強い	44m 以上 54m 未満
猛烈な	54m 以上

- 台風とは、最大風速(秒速)が17.2m以上に発達した熱帯低気圧です。

線状降水帯

- 「線状降水帯」は、発達した積乱雲が数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される強い降水をともしなう雨域のことです。
- 雨域の長さは50km~300km程度、幅は20km~50km程度に及びます。
- 「線状降水帯」の発生メカニズムには未解明な点も多く、発生予測も難しいとされています。

線状降水帯の代表的な発生イメージ



マイ・タイムラインを作ろう

マイ・タイムラインは、台風などの接近時に家族のとり防災行動を時系列で整理したものです。記入例を参考に、自分と家族の避難行動を記入しましょう。

マイ・タイムラインの作成

自宅と避難先の状況

① 自宅の状況の確認

●自宅に浸水などの危険があるか確認しましょう

- ①「洪水ハザードマップ(P.12～P.33)」で自宅の場所を確認します。
- ②自宅に浸水深の色があるか確認し、チェック☑しましょう。

浸水深

- 10.0～20.0m未満 ☐
- 5.0～10.0m未満 ☐
- 3.0～5.0m未満 ☐
- 0.5～3.0m未満 ☐
- 0.0～0.5m未満 ☐
- 浸水想定なし ☐

- ③自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域に該当するか確認し、チェック☑しましょう。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) ☐
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) ☐
- 該当なし ☐

※自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域にある場合は早期の立退き避難が必要となります。

② 避難先の確認

●避難先となる場所を記入しましょう

- ①「洪水避難行動判定フロー(P.1)」で、風水害時の避難先や避難開始のタイミングを確認します。
 - ②避難先は複数の場所を検討します(避難所、親戚・知人家、ホテル・旅館、在宅避難など)。
- ※避難先を記入します。

避難先 1

避難先 2

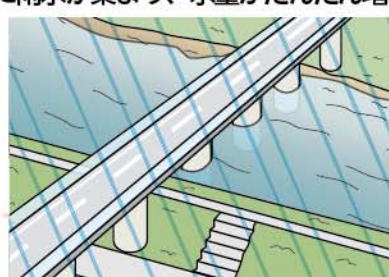
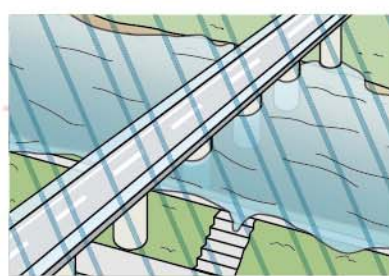
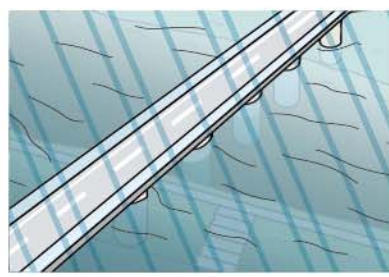
避難先 3

③ 避難経路の確認

●避難経路の危険箇所を記入しましょう

- ①自宅周辺や避難先の途中に、危険な場所があるか確認します。
- ※迂回しないで、通る場合に備えて記入します。

危険箇所

時間軸	大まかな行動	外の状況	避難情報・防災気象情報(P.1)	記入例	マイ・タイムライン(記入箇所)
3日前	●雨風が強くなる前に済ませておく	●台風が発生 ●台風が近づくにつれて雨風が強くなる ●雨がさらに強くなり、川の水位も上昇し始める 	警戒レベル1相当 ●台風予報(早期注意情報)	●洪水ハザードマップを確認する ●今後の天気予報を確認する ●家族の今後の予定を確認する ●自宅の安全対策を確認する ●非常持ち出し品を確認する ●携帯電話・スマートフォンを充電する(100%にする) ●車の燃料を確認する(給油、充電する)	
2日前		●川に雨水が集まり、水量がだんだん増える 	警戒レベル2相当 ●大雨注意報・洪水注意報 ●氾濫注意情報 ●キキクル(危険度分布):注意(黄)	●避難先への移動手段を確認する ●大雨や川の水位状況を確認する ●交通情報を確認する	
1日前	●避難行動を開始する	●川の水がいっぱい、溢れるおそれがある 	警戒レベル3相当 ●大雨警報・洪水警報 ●氾濫警戒情報 ●キキクル(危険度分布):警戒(赤)	●高齢者や避難に時間のかかる人は避難の準備をする	
12時間前			警戒レベル3 高齢者等避難 発令	●高齢者や避難に時間のかかる人は避難する ●その他の人は避難の準備をする	
2時間前		●川の水がいっぱい、いつ溢れてもおかしくない 	警戒レベル4相当 ●氾濫危険情報 ●キキクル(危険度分布):危険(紫)	●全員の災害の危険がある場所から安全な場所に避難する	
			警戒レベル4 避難指示 発令		
			警戒レベル4までに必ず避難	警戒レベル4までに必ず避難	警戒レベル4までに必ず避難
0時間	●身の安全を確保する	●川の水が氾濫 	警戒レベル5相当 ●大雨特別警報 ●氾濫発生情報 ●キキクル(危険度分布):災害切迫(黒)	●命を守るために最善の行動をとる ※屋外への避難は危険な状況です。少しでも安全な場所に移動する等、直ちに身の安全を確保してください。	
			警戒レベル5 緊急安全確保 発令		

※掲載している防災情報や気象情報、河川情報などの発表タイミングはイメージです。実際の大雨や台風の接近時とは異なる場合があります。